

チケット管理システム

2017/05/23

takaya

プロジェクトがうまく回らない理由

- 目標が間違っている
 - 見積が不正確
 - プロジェクトの終わりが定義されていない
 - メンバのモチベーションが低く、進捗ダメです
- プロジェクトの可視化が出来ていない
(誰が、何を、いつまでに、どこまで)

チケット管理システムの導入 メリット

- タスク管理のための基本機能
- 一覧性、検索性の高さ
- ナレッジを貯める場所としての効果
- レポーティングのしやすさ
- 他システムとの連携（ref. 4.3 4.4）

チケット駆動開発

- 目的に応じたチケットを起票
- チケットの内容に応じてcommit (commit log にチケット番号入れる)
- 詳細は4.4

主なチケット管理システム

ツール名	使用経験	テーマ
Trac	×	
Redmine	○	PJS（途中から）、CL
Bugzilla	×	
Mantis	×	
JIRA	×	
YouTRACK	×	
Pivotal Tracker	×	
Backlog	○	CloudScreen
Github	△	本勉強会

ちゃんと運用できてる？

ツールとして使ってはいたが、うまく運用出来ていた気がしない（個人の感想）

- チケットはあるけど、担当なし、期限なし
- チケットの粒度
- CLOSEされていない山のようなチケット
- 炎上している時ほどチケットを放置

→ 全員が運用の共通認識を持っていないとうまくいかない。好き勝手やる人が一人でも現れると全体が破綻するイメージ。最初は舵取りマンが必要？

まとめ

- プロジェクトがうまくいかない理由は、タスクの可視化、整理、共有が出来ていないから
- チケット管理システムを使って、状況を可視化、共有する
- チケット管理システムと他システムを連携させてチケット駆動開発が出来ると、後々追跡しやすい（詳細は次節以降）

参考にしたスライド

アンチパターン

- [redmineを使ったチケット管理の失敗のさせ方](#)
- [チケット管理のアンチパターンとベストプラクティス](#)